

ご使用について

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビ等の音響、映像機器に雑音が入ることがまれにあります。
 - 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなることがあります。
- ※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

【ご注意】

- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがあります。異常ではありません。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。変質・変色の原因となります。

△警告

LEDを直視するのをおやめください。目に悪影響を及ぼすことがあります。

品番 DCL-38566Y・DCL-38567Y・DCL-38568Y

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

- 施工前に安全上の注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

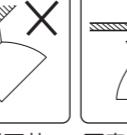
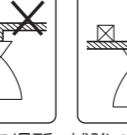
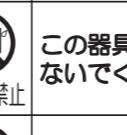
△警告

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

△注意

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

△警告

!	厳守	この器具は天井取付専用です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下的原因となります。
		 壁面  傾斜天井  不安定な場所  補強のない天井
!	水ぬれ禁止	器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下的原因となります。
		 この器具は防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
!	厳守	周囲温度-5~35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。
		 器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災・感電・落下的原因となります。

△注意

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

!	厳守	●照明器具には寿命があります。 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。 ※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
		●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

- 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

- 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

商品についてのご相談は CSセンター(0570) 003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

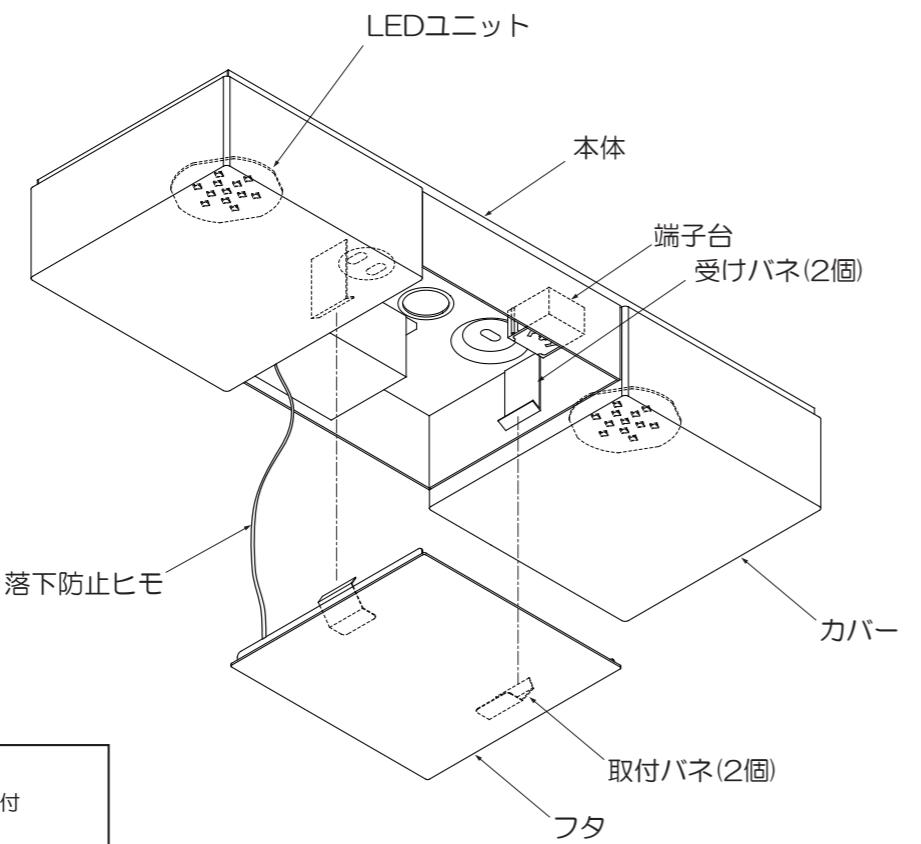
仕様

- 屋内専用
- 天井取付専用
- 木ネジ取付方式

品番	DCL-38566Y・DCL-38567Y・DCL-38568Y
定格電圧	交流 100V
周波数	50/60Hz兼用
消費電力	18.2W
入力電流	0.32A
LEDユニット	演色性 Ra83 電球色(2700K) LED光源寿命：40,000時間
器具重量	約1.1kg
電源接続	端子台

各部の名称

※下図は、簡略した図です。

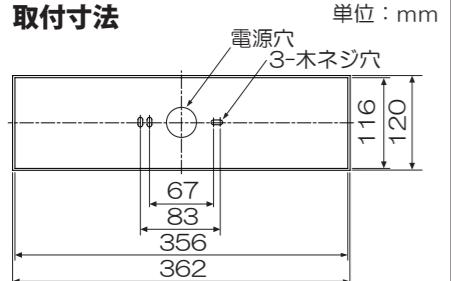


付属部品



木ネジ座付
(2本)

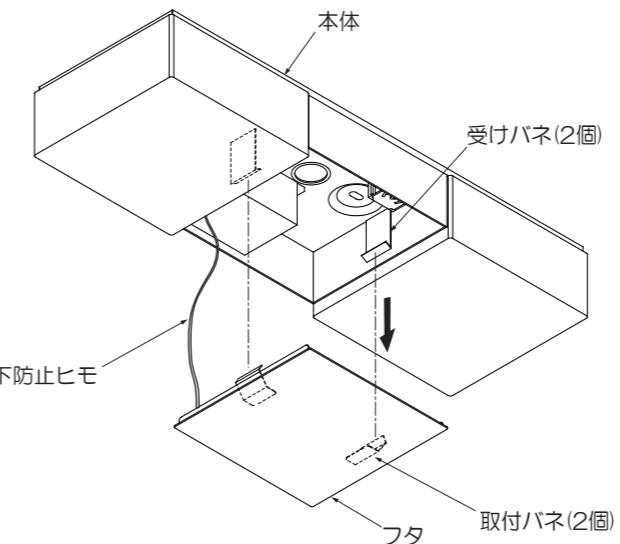
取付寸法



施工説明

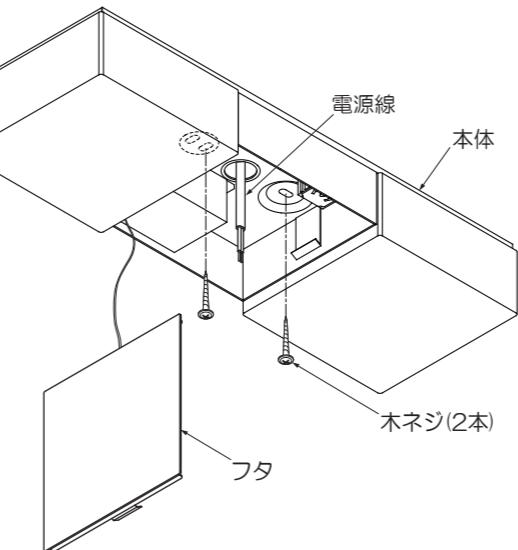
① フタを取り外す

- フタを本体から取り外してください。
※本体とフタは、落下防止ヒモでつながっています。
落下防止ヒモは取外さないでください。



② 本体を取付ける

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。
乾燥が不充分だと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- 本体の電源穴(ブッシング付)に電源線を通し、木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付けてください。

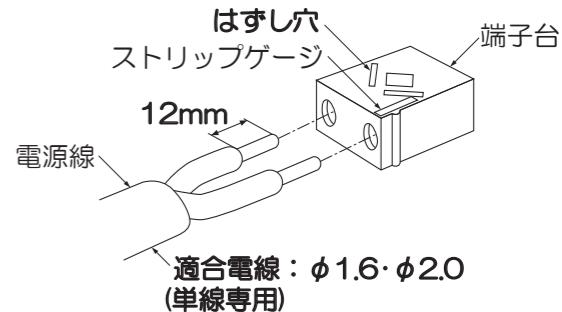


△警告

- 取付け部、補強材へのねじ込み寸法が、20mm以下の場合、落下的原因となります。
既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。落下的原因となります。

③ 電源線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

- 電源線を端子台に適切、確実に差し込んでください。



△警告

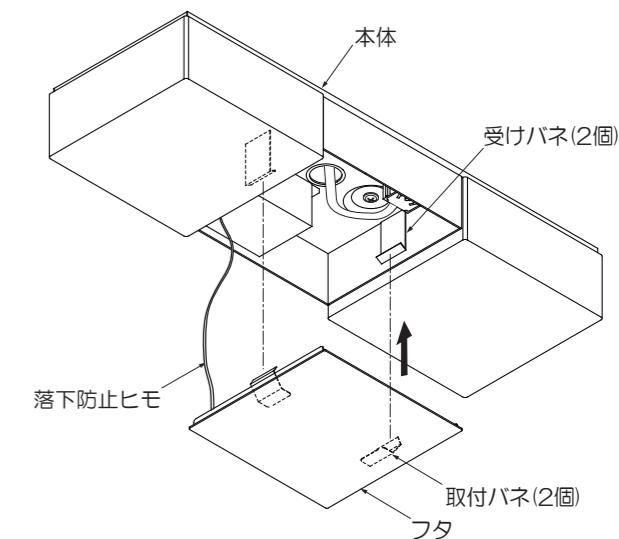
- 適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

<電源線を取外す場合>

- マイナスドライバー等をはずし穴に差し込み、電源線を引き抜いてください。

④ フタを取付ける

- フタを本体にセットし、まっすぐ押し上げてください。
フタが確実に取付いていることを確認してください。
※落下防止ヒモをはさまないように取付けてください。



△警告

- 取付けが不完全な場合、落下的原因となります。